

発掘された遺物はどこへ？～遺物の保管

発掘調査により出土した遺物は、県立埋蔵文化財センター施設内にある収蔵庫に一時保管されます。各遺跡の整理作業・報告書作成の際は、ここから整理作業所へ運び出されることになります。

報告書の刊行を終えた遺跡の遺物は、県の管理する文化財として改めて整理・収納され、全国のさまざまな展示に貸し出されたり、研究資料として活用されたりします。

県内各地の遺跡から集められた多くの遺物が、これからも歴史を紐解くための手がかりとして、役立てられていくことになります。



第2 整理作業所見学（福山小学校1・2年生）

去る10月24日（木）、霧島市立福山小学校の1・2年生が、生活科の授業の一環として第2整理作業所の見学に訪れました。

小学生は、発掘調査や整理作業の目的・方法の説明を受け、整理作業の様子を見学しました。実際の作業の見学や作業体験を通して、遺跡を身近に感じてもらうことができました。

なお、（公財）埋蔵文化財調査センターでは、整理作業の様子を見学していただくことができます。希望される方は、下記の連絡先にお問い合わせください。



（公財）埋蔵文化財調査センターのホームページは、上野原縄文の森（<https://www.jomon-no-mori.jp>）または、鹿児島県文化振興財団（<http://www.houzanhall.com/zaidan/>）からお入りください。

検索キーワード

上野原縄文の森

検索

～かごしまの遺跡～ 第21号

発行日 令和2年2月7日
編集・発行 （公財）鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター
鹿児島県霧島市
国分上野原縄文の森2番1号
TEL 0995-70-0574 FAX 0995-70-0575
URL: <https://www.jomon-no-mori.jp>
E-mail: maibunchosa@tuc.bbiq.jp

公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 埋蔵文化財調査センター



～かごしまの遺跡～

第21号

令和2年2月7日

山ノ段遺跡 (出水市下鯖町)



石槍は何に使われた!?



山ノ段遺跡は、江良川右岸の河岸段丘上、標高約25mに位置しています。

土石流の堆積物の中から、肥薩火山岩に由来する大小さまざまな礫と縄文時代早期を中心とする土器や石器が出土しています。

左の写真は、石槍の出土状況です。この石槍は、長さが約18cm、重さは404gあり、県内でも最大級です。また、石槍には珍しく先端部に磨かれた痕が見られます。

実際に狩りなどで使用されたものなのか祭祀等で用いられたシンボリックなものなのか、今後の検討が待たれます。

ろく たん が まる
六反ヶ丸遺跡 (出水市六月田町)

出水平野を流れる米ノ津川の右岸、標高約6mの小高い場所に所在する遺跡です。

本年度は、10月まで調査が行われ、古墳時代の竪穴住居跡や土坑、「土器溜まり」と呼ばれる土器片が積み重なっている箇所などが発見され、弥生時代の土器も多数出土しました。

また、11月24日(日)には地元の公民館において、成果報告会を開催し、地元住民の方々へ遺跡の概要や本年度の調査成果を知っていただくことができました。

成果報告会①

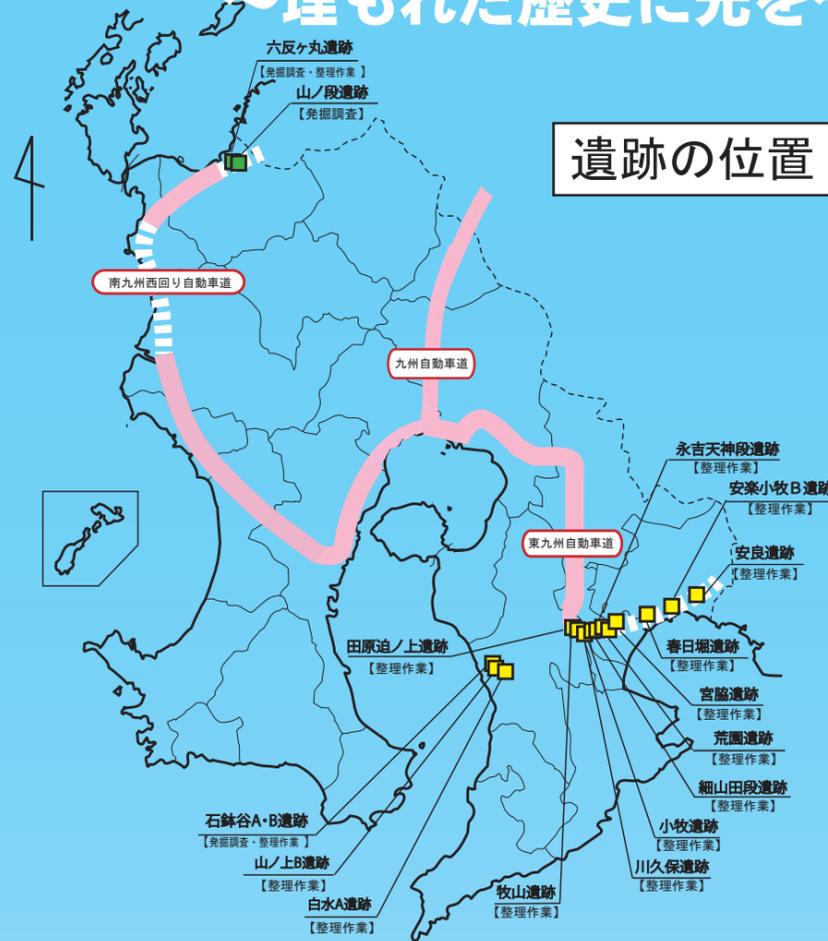


成果報告会②



今年度の発掘調査・整理作業

～埋もれた歴史に光を～



遺跡の位置

第1整理作業所

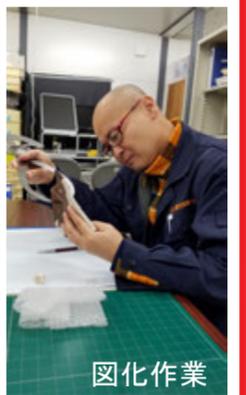
「上野原縄文の森」の隣接地にある第1整理作業所は、内部が遺跡ごとの整理作業室や復元室に区切られており、遺物の洗浄や注記、接合・実測・復元・トレース・レイアウトなど、報告書作成に係る一連の作業を行っています。

今年度は、安良遺跡、宮脇遺跡・安楽小牧B遺跡、春日堀遺跡、永吉天神段遺跡、細山田段遺跡、山ノ上B遺跡・白水A遺跡・石鉢谷A遺跡、六反ヶ丸遺跡の整理作業を実施しています。

写真は、土器の接合作業と遺物の図化作業です。土器の接合では、複雑に割れた破片の特徴をよく観察し、同じ種類の土器ごとに仕分けていきます。図化作業では、遺物の厚さなどを測り、正確に図面に描き表していきます。



接合作業



図化作業

いし はち だに えー
石鉢谷A遺跡 (鹿屋市古里町)

本遺跡は、鹿屋市西部にある鹿屋体育大学の西側に所在しています。

本年度の調査は、11月から1月まで行われ、縄文時代早期の集石が検出されています。その他、縄文時代のもと考えられる石器や古墳時代の土器も出土しており、尾根状の傾斜地であるにも関わらず、人々の営みの痕跡が見られました。



集石検出作業

遺跡遠景



すりたたきいし 磨敲石



石皿



集石

第2整理作業所 (旧福山中学校)

整理・報告書作成作業の増加に伴い、昨年度から霧島市立福山中学校に第2整理作業所が設置されています。1遺跡1教室の区切られた配置や特別教室・倉庫の利用など、学校施設としての特徴を最大限に生かしながら、整理作業が行われています。

今年度は、荒園遺跡、小牧遺跡、川久保遺跡、牧山遺跡、田原迫ノ上遺跡の5遺跡について、整理作業を実施しています。



田原迫ノ上遺跡 (旧3年教室)



復元 (旧事務室)



小牧遺跡 (旧PC室)



拓本 (旧家庭科室)